

国際アート・カルチャー都市

◆国際アート・カルチャー都市とは? 「芸術文化」という言葉で一般的にイメージされる枠組みを超え、伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住にかかわる生活文化からハードな都市づくりまでを含み、アートの持つ想像力・創造力で、まちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市です。

東アジア文化都市開催を契機に3つの戦略をさらに推進します

実現戦略3つの柱

- ▶ **文化戦略**
多様な文化が共存するほかに例を見ない文化レガシーを創出します。
- ▶ **国際戦略**
豊島区の魅力を世界に発信していきます。
- ▶ **空間戦略**
出会いが生まれる劇場空間をまちじゅうに創出します。

新ホールを含む「ハレザ池袋」や池袋西口の「劇場公園」など、アートとカルチャーによるまちづくりは着実に芽を吹き根付こうとしています。都市政策の中核にアートとカルチャーをすえた街は世界にも珍しく、その成果の第一弾が「東アジア文化都市」なのです。「アートカルチャー特命大使」や区民の皆さんと「文化都市としま」を発信し世界中のお客様をお迎えしようではありませんか。

前田三郎氏
(株)キョードー・ファクトリー代表取締役
国際アート・カルチャー都市
チーフプロデューサー

—まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市—

国際アート・カルチャー都市プロデューサー

国際アート・カルチャー都市構想の策定に寄与するプロデューサー **12名**

国際アート・カルチャー都市懇話会

国際アート・カルチャー都市構想を具体化する都市懇話会委員 **30名**

国際アート・カルチャー特命大使

国際アート・カルチャー都市構想のすそ野を広げる活動の担い手 **1457名**
平成30年11月末現在

7つの目標
<https://culturecity-toshima.com>

東アジア文化都市2019豊島では7つの目標を掲げこの実現を目指していきます。

- ①豊島区民の全員参加
- ②豊島区の文化の再認識を通じたシビックプライドの醸成
- ③国内外の人々の来訪による豊島区のブランディング
- ④各種施策横断によるオールとしまとしての事業展開
- ⑤豊島区の未来を担う人材の育成
- ⑥東アジア文化都市事業の継続性のあるモデルの提示
- ⑦東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成及びリーダーシップの発揮

日中韓の心をつなぐ歌「わたしは未来」

「わたしは未来」は、現文化庁長官の宮田亮平さんが日中韓三か国語で合唱できる歌の創作を提案され、歌詞には、自分たちの未来に期待を持ち、国境を超えて夢を叶えてほしいという願いが込められています。日中韓の交流、東アジア文化都市を象徴する曲として、区民の皆さんと歌い上げます。

作詞:夢枕 獺
作曲:松下 功

わたしは未来

ゆこう ゆこう あの道の向こう
ゆこう ゆこう あの雲の向こう
宇宙人の秘密基地 砂漠の地平線
何があるのか 分からないけど
はらはら どきどき ゆこう
分からないから ゆこう
海より大きな魚 釣りにゆこう
はらはら どきどき わたしは未来

ゆこう ゆこう あの山の向こう
ゆこう ゆこう あの空の向こう
ダイヤモンドを食べるあり 泣き虫大クジラ
何があるのか 分からないけど
はらはら どきどき ゆこう
分からないから ゆこう
風より自由な鳥を 探しにゆこう
はらはら どきどき わたしは未来

豊島区の基礎データ

- ◆歴史 1932年(昭和7年)豊島区制施行
- ◆面積 13.01km²(23区中18番目の広さ)
- ◆総人口 290,024人
- ◆昼間人口 417,146人(平成27年国勢調査)
- ◆人口密度 220.7人/ヘクタール(平成30年1月1日現在)
⇒全国で最も人口密度が高いまち。
- ◆外国人住民 30,392人(総人口の約10.5%)
国籍別外国人住民数
中国 12,790人(総人口の約4.4%)
韓国・朝鮮 2,629人(総人口の約0.9%)
(平成30年7月5日現在)

お問い合わせ
東アジア文化都市2019豊島実行委員会事務局
〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所本庁舎 8階
TEL:03-4566-2841 | FAX:03-3980-5160
contact@culturecity-toshima.com | <https://culturecity-toshima.com>

豊島区 TOSHIMA CITY
TOSHIMA International City of Arts & Culture
文化庁



はらはら、どきどき、文化がいっぱい。

東アジア文化都市 2019 豊島
Culture City of East Asia 2019 Toshima

基本計画(概要版)
東アジア文化都市2019豊島実行委員会
2018年12月改訂版

Illustration: 武者小路晶子

豊島区は、こんなまち

人が集まり、新たな出会いを繰り返しながら、多様な文化がひしめき合うまち

豊島区は、これまで培ってきた歴史や文化、引き継がれてきたまちなみを大切に守りながら、急激に副都心として成長する過程で、住み、働き、学び、楽しみ、憩うなどモザイクのように様々な顔をもつまちとなっています。

国際アート・カルチャー都市という壮大な構想の実現に、豊島区は大きな一歩を踏み出そうとしています。構想の核となる「Hareza池袋」は、新たなまちづくりの土台、豊かな発想と行動力に裏打ちされた、重量感溢れる試みです。東アジア文化都市は、この試みのスタートを飾るに相応しい、大きな起爆剤となり得る事業です。「豊島区民全員参加」が、目標の一番に挙げられており、私も区民の一人として、成功に向け背水の陣で臨む覚悟であります。

豊島区のパワーの源泉は、国籍も年齢も職業も様々な人が行き交うストリート性にあると感じます。21世紀の都市デザインのテーマはwalkable、歩いて楽しい要素がたくさんあることです。20世紀には、そういうストリート性、多様性に対して、ごちゃごちゃしているとか、あぶないとか、ネガティブな形容詞が使われていました。しかし、時代は逆転したのです。そういう大逆転の街の代表が池袋なのです。まちなかを歩いて人々が出会い、文化を通じた交流がさらに深まることを期待しています。

野村萬氏
豊島区名誉区民
重要無形文化財 狂言 保持者(人間国宝)
日本芸術院会員
文化功労者
(公社)日本芸能実演家団体協議会 会長

隈研吾氏
建築家
豊島区都市政策顧問

まちの多様性/文化の多様性

マンガアニメ
アニメの聖地として注目

演劇
地域が育む文化

伝統芸能
日本の伝統文化を表現する場として各所で様々なイベントを開催

地域に息づく文化
池袋モンパルナスがあったアートのまち、音楽のまち、アートオリンピック、東京アニメアワードフェスティバル等、国際イベントが続々と集結。

演劇
演劇が根付いたまち

伝統芸能
池袋モンパルナスがあったアートのまち、音楽のまち、アートオリンピック、東京アニメアワードフェスティバル等、国際イベントが続々と集結。

地域に息づく文化
池袋モンパルナスがあったアートのまち、音楽のまち、アートオリンピック、東京アニメアワードフェスティバル等、国際イベントが続々と集結。







東アジア文化都市2019豊島

東アジア文化都市とは？

日中韓の3か国から、文化芸術による発展をめざす都市を毎年1都市選定し、年間を通して多様な文化芸術イベントを開催し、3か国の文化交流を図る国家的プロジェクトです。

横浜市（2014年）、新潟市（2015年）、奈良市（2016年）、
京都市（2017年）、金沢市（2018年）に続き、
豊島区が6番目の開催都市に決定しました。

2019
TOSHIMA

	開催都市					
	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
日本	 東アジア文化都市 2014横浜 Culture City of East Asia 2014, YOKOHAMA	 東アジア文化都市 2015新潟市 Culture City of East Asia 2015 NIIGATA	 東アジア文化都市 2016奈良 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2016 NARA JARA NARA NARA CEN NARA NARA 2016	 東アジア文化都市 2017 京都 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2017 KYOTO	 KANAZAWOW! 東アジア文化都市 2018金沢 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2018 KANAZAWA	 東アジア文化都市 2019豊島 CULTURE CITY OF EAST ASIA 2019 TOSHIMA
	横浜市	新潟市	奈良市	京都市	金沢市	豊島区
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市
韓国	光州広域市	清州市	濟州特別自治道	大邱広域市	釜山広域市	仁川広域市

Copyright © Free Vector Maps.com



成熟した国において、これから重要な役割を果たすのは、都市と文化だが、その力を安全保障などに集中せざるを得ない国家には、十分な文化政策を行うゆとりがない。私も出席した日中韓文化大臣会合で日本が提案し、合意された東アジア文化都市構想の果たす役割はこの上なく重要で、豊島区が、東京オリンピック・パラリンピックの前年である2019年の、候補都市に選ばれた意義は大きい。豊島区が今後の東アジア交流の拠点となることを祈って止まない。



元文化庁長官
豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会会長

近藤誠一氏

「国と国」の政治的な関係が困難な今日においては、文化による交流、そして、「都市と都市」および「市民と市民」との交流をより積極的に推進していくことが必要です。「東アジア文化都市」の目的は、「東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進」ですが、そのことは東アジア3か国の平和的な関係の構築にも大きく寄与するでしょう。それは日中韓の3か国にとって未来へ向けての大きな希望となりますので、十分に「ノーベル平和賞」の受賞に値する偉業となると信じています。



三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
芸術・文化政策センター長/主席研究員
豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会副会長

太下義之氏

幅広い世代の参加、 多様なイベント・プログラム、 豊島区の未来を担う人材育成

【デザインコンセプト】

TOSHIMAの「T」をモチーフに3つの国の結束と躍動を表現しました。色とりどりの線の色は、多彩な文化、芸術、国籍などを表し、日本伝統の工芸品でもある組紐のような結び目は、絆や結束を表しています。同時に、結び目を中心にして伸びていく三本線は、エネルギー溢れる活き活きとした生命力を表現しています。



東アジア 文化都市 2019 豊島

Culture City of East Asia 2019 Toshima

豊島区には、かつて「池袋モンパルナス」と呼ばれた、芸術家たちが集い切磋琢磨しながら創作に打ち込んだアトリエ村があったように、古くから若手芸術家を育成し、文化を創造する土壌がありました。

そして今、豊島区はその理念を受け継ぎ、「国際アート・カルチャー都市構想」を掲げ、文化の力で世界の人々を引き付ける「国際都市」を目指して変貌を遂げようとしています。それゆえに、東アジア文化都市事業にかける豊島区の熱意には並々ならぬものを感じ、東アジア文化都市事業を通じて、その取組の成果が、国内だけでなく、中国、韓国にも共有されていくことを期待します。



文化庁長官

宮田亮平氏

日中韓交流の視点を取り入れ区民の全員参加で展開します

区民全員が作り手・鑑賞者として参加いただけるよう、将来を担う若い世代、区内に居住している中韓の方々を意識した事業の公募や広報連携を行います。

ホールとして盛り

区民の提案と協働で実施する

区民参加事業



撮影:新垣本

舞台芸術

舞台芸術部門総合ディレクター

宮城聡

三人のディレクターによる東アジアを象徴する

新規事業



マンガ・アニメ

マンガ・アニメ部門総合ディレクター

古川タク

まち全体で展開する祝祭性溢れる

継続事業



撮影: Takashi Fujikawa



祭事・芸能

祭事・芸能部門責任者

東澤昭

(公益財団法人としま未来文化財団常務理事)



区民が主役の「東アジア文化都市2019豊島」



東アジア文化都市2019豊島
実行委員会 委員長

高野之夫 (豊島区長)

東アジア文化都市2019豊島では、区民の皆さんが主役です。多くの区民の皆さんが事業を鑑賞するだけでなく、機運を盛り上げ、さらには作り手として参加できるよう、様々な提案をお受けしていきます。

区内で特に盛んに行われている「舞台芸術」「マンガ・アニメ」そして「祭事・芸能」にはディレクターを置き、魅力的な新規事業・日中韓交流事業を立ち上げます。

年間を通じて区内各所で開催されている既存の事業を充実させることで、オールとしまでの参加によって祝祭性を創出していきます。

中核的な事業では、交流の視点を盛り込み、特に子どもの交流を重視していきます。区民としての中韓の方々を含めた国際交流を行い、多文化共生を推進させていきます。また、2019年に完成する多くの施設等を「東アジア文化都市2019豊島開催記念事業」とします。

盛り上げよう

東アジア文化都市2019豊島
実行委員会 全体統括

吉岡知哉



豊島区は、明治後半から大正にかけて、交通の要所として発展、同時期に多くの学校が開校し、教育と文化の街へと成長しました。街の活動と人々の日々の生活との密接な結びつき、伝統の中で培われた多彩で多様な文化的活力が、豊島の最大の魅力です。2019年には新しい劇場や公園がオープンし、また違った顔を見せてくれることでしょう。それは新しい豊島のはじまりを告げるファンファーレです。力を合わせて東アジア文化都市を成功させ、豊島区をアジアに輝かせましょう。

《東アジア文化都市2019豊島》開催記念事業

1 Hareza (ハレザ) 池袋



▲誰もが主役となれる劇場都市のシンボル

2 池袋駅周辺4公園



▲四季を通して個性あるイベントを開催

2019年
2月1日
開幕式典!
東京芸術劇場
コンサートホール

2019年、年間を通じて
多様なプログラム・イ
ベントを展開!
春と夏のコア期間には
より一層の文化体験を!

Hareza池袋に
芸術文化劇場が
オープン!

池袋西口公園
オープン

2019年
11月24日
閉幕式典
Hareza池袋
芸術文化劇場

ROAD TO
2020AND
BEYOND

プレ期間
2018

春のコア期間
2019 東アジア文化都市

秋のコア期間

東京2020大会そして未来へ

2019年から2020年にかけて「国際アート・カルチャー都市構想」をけん引する庁舎跡地開発「Hareza池袋」、まちを変える「池袋駅周辺4公園」の整備など、「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」が姿を現します！ 2019年東アジア文化都市、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、さらにその先の文化レガシーの継承も視野に入れ、戦略的な取組みを進めていきます。

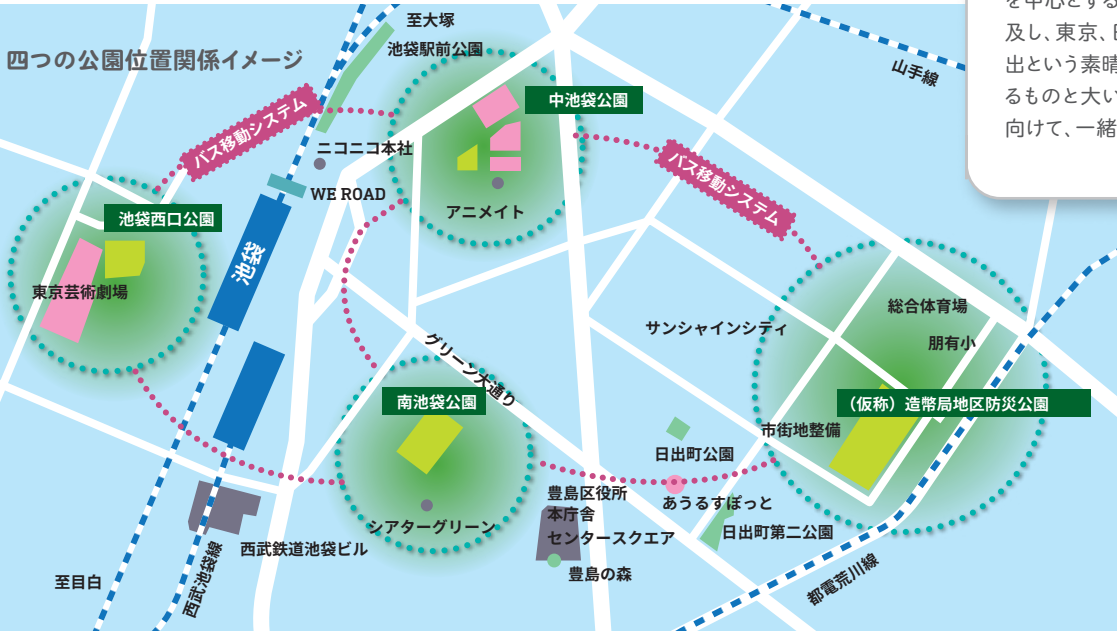
文化レガシー

オリンピック・パラリンピックは世界の人々の心が触れ合う文化の祭典でもあり、2020年大会は、東京が世界を魅了する文化都市へと飛躍する絶好の機会になります。

豊島区による東アジア文化都市開催により、池袋を中心とする芸術文化の魅力発信が国内外に波及し、東京、日本にとっての新しい文化拠点の創出という素晴らしいオリンピックレガシーにつながるものと大いに期待しています。2020年大会に向けて、一緒に盛り上げていきましょう。



東京都知事
小池百合子氏



3 真っ赤な電気バス



▲回遊する観光と環境のシンボル

4 WE ROAD (ウイロード)



▲色で表現したアート空間へ再生

5 トキワ荘の再現



▲世界に発信するマンガの原点

4日
典!
袋
場



2020 オリンピックイヤー

◆**国際アート・カルチャー都市とは?**「芸術文化」という言葉で一般的にイメージされる枠組みを超え、伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住にかかわる生活文化からハードな都市づくりまでも含み、アートの持つ想像力・創造力で、まちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市です。

東アジア文化都市開催を契機に3つの戦略をさらに推進します

実現戦略3つの柱

文化戦略

多様な文化が共存するほかに例を見ない文化レガシーを創出します。

国際戦略

豊島区の魅力を世界に発信していきます。

空間戦略

出会いが生まれる劇場空間をまちじゅうに創出します。

新ホールを含む「ハレザ池袋」や池袋西口の「劇場公園」など、アートとカルチャーによるまちづくりは着実に芽を吹き根付こうとしています。
都市政策の中核にアートとカルチャーをすえた街は世界にも珍しく、その成果の第一弾が「東アジア文化都市」なのです。
「アートカルチャー特命大使」や区民の皆さんと「文化都市としま」を発信し世界中のお客様をお迎えしようではありませんか。



(株)キョードー・ファクトリー代表取締役
国際アート・カルチャー都市
チーフプロデューサー

前田三郎氏

—まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市—

実現戦略3本の矢

国際アート・カルチャー都市 プロデューサー

国際アート・カルチャー都市構想の
策定に寄与するプロデューサー

12名



国際アート・カルチャー都市 懇話会

国際アート・カルチャー都市
構想を具体化する
都市懇話会委員

30名



国際アート・カルチャー 特命大使

国際アート・カルチャー都市構想の
すそ野を広げる活動の担い手

1457名

平成30年11月末現在

7

7つの目標

東アジア文化都市2019豊島では7つの目標を掲げこの実現を目指していきます。

- ①豊島区民の全員参加
- ②豊島区の文化の再認識を通じたシビックプライドの醸成
- ③国内外の人々の来訪による豊島区のブランディング
- ④各種施策横断によるオールとしまとしての事業展開
- ⑤豊島区の未来を担う人材の育成
- ⑥東アジア文化都市事業の継続性のあるモデルの提示
- ⑦東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成及びリーダーシップの発揮

日中韓の心をつなぐ歌「わたしは未来」

「わたしは未来」は、現文化庁長官の宮田亮平さんが日中韓三か国語で合唱できる歌の創作を提案され、歌詞には、自分たちの未来に期待を持ち、国境を超えて夢を叶えてほしいという願いが込められています。日中韓の交流、東アジア文化都市を象徴する曲として、区民の皆さんと歌い上げます。

わたしは未来

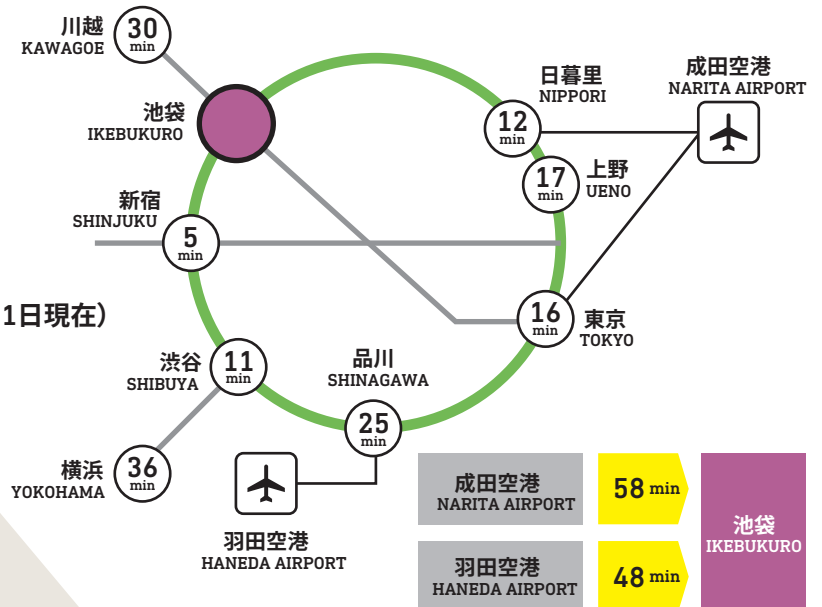
作詞:夢枕 獏
作曲:松下 功

ゆこう ゆこう あの道の向こう
 ゆこう ゆこう あの雲の向こう
 宇宙人の秘密基地 砂漠の地平線
 何があるのか 分からないけど
 はらはら どきどき ゆこう
 分からないから ゆこう
 海より大きな魚 釣りにゆこう
 はらはら どきどき わたしは未来

ゆこう ゆこう あの山の向こう
 ゆこう ゆこう あの空の向こう
 ダイヤモンドを食べるあり 泣き虫大クジラ
 何があるのか 分からないけど
 はらはら どきどき ゆこう
 分からないから ゆこう
 風より自由な鳥を 探しにゆこう
 はらはら どきどき わたしは未来

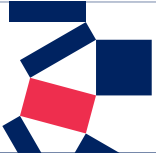
豊島区の基礎データ

- ◆歴史 1932年(昭和7年)豊島区制施行
- ◆面積 13.01km²(23区中18番目の広さ)
- ◆総人口 290,024人
- ◆昼間人口 417,146人(平成27年国勢調査)
- ◆人口密度 220.7人/ヘクタール(平成30年1月1日現在)
⇒全国で最も人口密度が高いまち。
- ◆外国人住民 30,392人(総人口の約10.5%)
国籍別外国人住民数
中国 12,790人(総人口の約4.4%)
韓国・朝鮮 2,629人(総人口の約0.9%)
(平成30年7月5日現在)



お問い合わせ

公認プログラム



はらはら、どきどき、文化がいっぱい。



東アジア 文化都市

Culture City of East Asia 2019 Toshima

2019 豊島

基本計画(概要版)

東アジア文化都市2019豊島実行委員会
2018年12月改訂版



豊島区は、こんなまち

人が集まり、
新たな出会いを
繰り返しながら、
多様な文化が
ひしめき合うまち

豊島区は、これまで培ってきた歴史や文化、引き継がれてきたまちなみを大切に守りながら、急激に副都心として成長する過程で、住み、働き、学び、楽しみ、憩うなどモザイクのように様々な顔をもつまちとなっています。

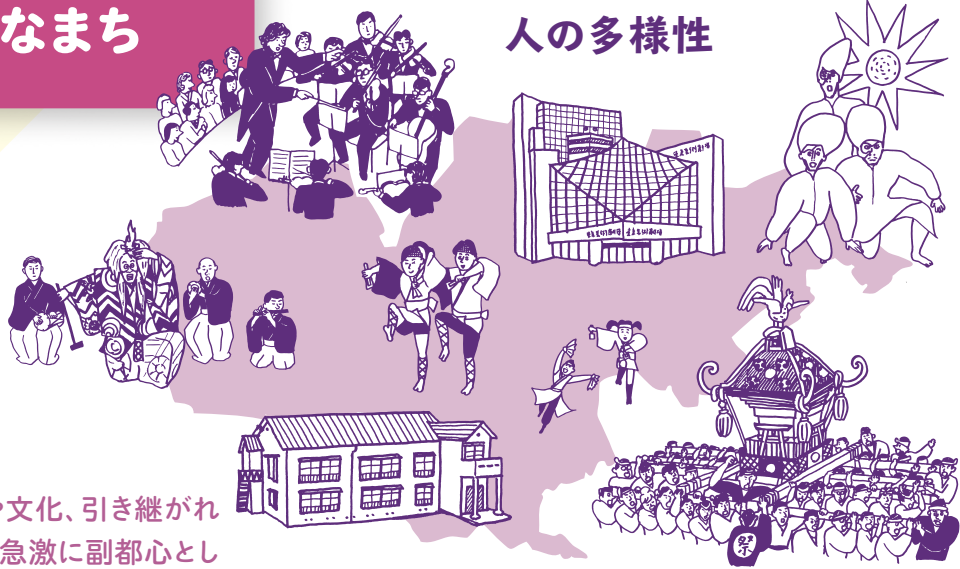
国際アート・カルチャー都市という壮大な構想の実現に、豊島区は大きな一歩を踏み出そうとしています。構想の核となる<Hareza池袋>は、新たなまちづくりの土台、豊かな発想と行動力に裏打ちされた、重量感溢れる試みです。東アジア文化都市は、この試みのスタートを飾るに相応しい、大きな起爆剤となり得る事業です。「豊島区民全員参加」が、目標の一番に挙げられており、私も区民の一人として、成功に向け背水の陣で臨む覚悟しております。

豊島区名誉区民
重要無形文化財 狂言 保持者 (人間国宝)
日本芸術院会員
文化功労者
(公社)日本芸能実演家団体協議会 会長

野村 萬氏



人の多様性



まちの多様性 / 文化の多様性

豊島区のパワーの源泉は、国籍も年齢も職業も様々な人が行き交うストリート性にあると感じます。21世紀の都市デザインのテーマはwalkable。歩いて楽しい要素がたくさんあることです。20世紀には、そういうストリート性、多様性に対して、ごちゃごちゃしているとか、あぶないとか、ネガティブな形容詞が使われていました。しかし、時代は逆転したのです。そういう大逆転の街の代表が池袋なのです。まちなかを歩いて人々が出会い、文化を通じた交流がさらに深まることを期待しています。

建築家
豊島区都市政策顧問

隈研吾氏



©J.C.Carbonne

マンガ アニメ

アニメの聖地として注目



提供:池袋ハロウィンコスプレフェス2017/raiconico

演劇が根付いたまち

演劇

地域が育む文化



撮影:青木隆二

伝統 芸能

日本の伝統文化を表現する場として
各所で様々なイベントを開催



撮影:Kazuyuki Matsumoto

池袋モンパルナスがあった
アートのまち、音楽のまち
アートオリンピア、
東京アニメアワードフェスティバル等、
国際イベントが続々と集結。

地域に息づく文化